

海峡

愛媛県

今治から発信する文学世界

活発な発表・出版

「海峡」十二年の歴史

明石海峡が開通し、今治と尾道を結ぶしまなみ海峡の開通一年前、平成十年四月に今治を発信地として幅広い世代や地域に呼びかけていく芸芸誌を目指し、今治在住白石美保子が発行人となり創刊した。白石に賛同した斧文夫が編集、画家、長橋幸子の協力を得て創刊となった。同人は十六名集まったが創刊号に作品発表をしたのは、十一名である。

創刊号 平成十年四月

発行 白石美保子
 小説 秦野純一、斧文雄 広海日花里
 ショートショート 川崎敬子
 詩 藤井信子、日野郁子
 評論 山本美登子
 随想 金森幸、hitomi
 ノンフィクション わたなべキエ 白石美保子
 表紙絵 長橋幸子

二号 平成十年十二月

発行 白石美保子
 初掲載 尾川みどり、西信真規子、大亀藤英、藤井総子

★同人消息

小松紀子 「花火」が愛媛芸芸協会賞を受賞。
 長橋幸子 平成十年八月今治市河野美術館にて開催された「高階重紀とその弟子たち」展に、百号の油絵「憩える緑」を出品、好評を博す。

秦野純一 創刊号の掲載の「錨をあげて」が「週間読書人」平成十年七月十日号の同人誌評に取り上げられる。
 村上健二 親友村上景一氏との共著「南十字星への旅」を平成十年六月に出版。

渡邊ひとみ 愛媛新聞の「てかがみ」に「主婦とキャリアの間」が掲載される。

三号 平成十一年六月

発行 白石美保子

初掲載 小松紀子 田窪真二、渡辺立子

★同人消息

田窪真二 主催する「かげろう座」より「シネマ・エクспレス」を出版、故淀川長治氏のシネマエッセイも掲載されている。
 山本美登子 愛媛新聞「へんろ道」に「誕生祝い」が掲載される。

四号 平成十一年

発行 白石美保子

五号 平成十二年六月

発行 白石美保子

初掲載 白石恭子、越智義邦

★同人消息

金森幸 創刊号掲載の「ああ、満州」を加筆して出版。

六号 平成十二年

発行 白石美保子

七号 平成十三年七月

発行 白石美保子

八号 平成十四年一月

発行 白石美保子

初掲載

★同人消息

西山慶尚 七号掲載の「よじわの茂蔵」武蔵野書房発行の図書新聞に取り上げられる

海峡 事務局

〒799・1522

愛媛県今治市桜井4・2・18

藤井総子

☎0898・47・3699

九号 平成十四年七月

発行 白石美保子

編集 斧 文雄 白石恭子

初掲載 宮田嘉代子

(海峡のホームページができる)

★同人消息

秦野純一 潮賞ノンフィクション部門の応募して、最終候補九編に残った。

「椿の咲く日まで」を日本評論社から出版。

日野郁子 写真集「伊予のかくれキリシタンを創

風社より上梓。

長橋幸子 河野美術館で開催された第七回、ア

ト・今展に五十号の油絵「遠望の冬景色」を展示

する。

十号 平成十五年一月

発行 白石美保子

★同人消息

京あすか 日曜フレンドシップ・ニュース二〇〇二年十一月号にエッセイ「ロシアのテレビ番組」を発表した。

十一号 平成十五年七月

発行 白石美保子

★同人消息

斧 文雄 図書新聞の同人誌評に「パレルモの電飾」が取り上げられる。

瀬川翔子 文芸社から出版される「響きあう詩」

に二、三年前に応募した詩が掲載される。

西山慶尚 海峡十号に掲載した「四十曲峠」が朝

日新聞の文芸批評欄で取り上げられる。

山本みとこ ペンネーム潮みちで書いた自伝的な本「路」を上梓する。

十二号 平成十六年一月

発行 白石美保子

編集 斧文雄 瀬川翔子

★同人消息

藤井信子 松山道後温泉旅館「ふなや」にて「花とねこ」ジョイント展」にて、詩を発表。

藤井総子 新風舎発刊の短編集に十一号掲載の「とらわれて」が掲載される。

十三号 平成十六年 七月

発行 斧 文夫

編集 藤井総子

十四号 平成十七年 一月

発行 斧 文夫

編集 藤井総子

十五号 平成十七年七月

発行 斧 文夫

編集 藤井総子

★同人消息

斧文雄 「パレルモの電飾」を出版。

藤樹英 十月に今治市民会館で能舞台の講演予定

瀬川翔子 自然出産に関する寄稿文をネット掲載

する。

十六号 平成十八年一月

十七号 平成十八年七月

発行 藤井総子

★同人消息

小野禮子 故斧文雄との合作童話「サル山のドカ」を出版。

瀬川翔子、山本みとこ 愛媛新聞「門」てかがみ」

に掲載される。

十八号 平成十九年

発行 藤井総子

十九号 平成十九年

発行 藤井総子

二十号 平成二十年四月

創刊して十年、発行者の交代はあったが、二十号を発売することができた。

この節目に、もう一度書くことの意義を問いなおし、今後の海峡発行につなげていきたい。

発行 藤井総子

★同人消息

武田典子 第四一回「北日本文学賞」にて第二次

予選通過。

小野禮子 大阪市総合生涯学習センター主催、絵

本原作コンクールにて入賞。

二十一号 平成二十一年一月

発行 藤井総子

初掲載 平子一

★同人誌消息西山慶尚 文学界八月号に海峡二十号に掲載の小説「知覧―六月三日の邂逅―」が取

り上げられる。

瀬川翔子 二十号より瀬川笙子に改名。

武田典子 第五回銀華文学賞(文芸思潮主催)において奨励賞受賞。

二十二号 平成二十一年七月

発行 藤井総子

初掲載 森ちえ

★同人消息

武田典子 第四三回「北日本文学賞」にて第四次予選通過。

田窪真二 シネマデイクトの夜も喜びも悲しみも幾年月 第二部の作品が週間読書人三月号に取り上げられ評価される。

西山慶尚 海峡二十号に掲載の小説「知覧」が季刊文科四四号の同人誌季評で評価される。

小野禮子 幼児向け絵本「ぼくのいす」教育画劇より出版。

西山慶尚、藤樹英 平子一、二十一号に掲載の作品が愛媛新聞同人誌欄で取り上げられる。

二十三号 平成二十二年一月

発行 藤井総子

★同人消息

藤井総子 第十八回大原富枝文学賞佳作入賞。

高木 幹男 古希祝いを兼ねて作品集を出版。
武田典子、京あすか、森ちえ、二十二号に掲載した作品が愛媛新聞同人誌欄で取り上げられる。

文芸思潮バックナンバー

第15号 2007.1 ¥1155

第3回銀華文学賞発表

座談会「暴力的な現在」井口時男・山崎行太郎・小林広一・河林満・司会=五十嵐勉

小説=「峠」五月薫、「雪女郎」原石寛、「内蒙古の二等兵」小澤恭、「餌食」中野睦夫

第16号 WAVE 2007.3 ¥840

小説=「果皮の表面」室町真、「忍び駒」七浦とし子、「マルクスは古い師」平塚壮吉、「漂流少女」

山口碧、「この戸の向こう側」木村令胡

第17号 2007.5 ¥1155

作家座談会「純文学とエンターテインメントの間」勝目梓・高橋三千綱・飯田章

小説=「聖丘寺院(ワット・プノム)へ」五十嵐勉、「消えない音」相川柊子、「黒馬」吉阪市郎、「針金」内山良久

第18号 WAVE 2007.7 ¥840

小説=名村和実「ばら屋敷」、湊正和「幻の女」、張明彦「時の幽谷に埋もれし」、杉本利男「牛と団扇」

第19号 2007.9 ¥1155

文芸評論家対談「『私』という思考」秋山駿・井口時男

第3回文芸思潮エッセイ賞発表

座談会「世界から見た日本文学」リース・モートン+ジェームズ・レイサイド+五十嵐勉

第20号 WAVE 2007.11 ¥945

第三回現代詩賞発表

尾関忠雄 詩「満月の下の詩人祭」・小説「個人の化石」

張明彦「『たけくらべ』と『紅楼夢』の描写技法の類似」

第21号 2008.1 ¥1155

第4回銀華文学賞発表

座談会「政治と文学」井口時男・山崎行太郎・菊田均・河林満・司会=五十嵐勉

勝又浩「中島敦とはどういう作家か」(講演録)、小沢美智恵「干刈あがた」私論」

